

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センターひこばえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		子どもさんの実態に応じて、3つのグループ(部屋)を設定し、プレイルームを設置しています。	療育内容によって、パーテーションを用いる等の配慮をし、必要に応じて、個別対応を行っています。
	②	職員の配置数は適切である	○		療育内容や子どもさんの状況に応じて、全職員でフォローする体制を作っています。	障害者総合支援法に基づき、職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		平屋で、子どもさんの生活空間に段差はありません(玄関にあります)。また、トイレや廊下には手すりを設置しています。また、玄関や廊下の掲示板にセンターのお知らせや地域の情報を掲示しています。	廊下では、衝突したり、転倒したりすると怪我につながる可能性があるため、職員が見守りを行っています。歩行の不安定な子どもさんに対しては、手をつないで誘導するよう配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		子どもさん達が通所する前、後にチェックシートを活用して、清掃・消毒、安全確認を行っています。定期的に危険箇所の補修、改善にも取り組んでいます。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に課題検討会議を実施し、業務改善に向けての話し合いを行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者アンケートでの御意見だけでなく、玄関に御意見箱の設置も行なっております。また、面談等を通して、保護者が意見を伝えやすい雰囲気作りにも配慮しています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今回のように、今後も定期的に公表していきます。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		平成29年3月に第3者評価を受審しました。	毎年、第三者評価の自己評価を実施し、日々のサービス提供、業務改善へとつなげています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に職員研修、法人研修を行っており、外部研修にも積極的に参加するように計画を立てて、取り組んでいます。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		相談支援専門員との連携を図り、子どもさんや保護者の面談を通して得られたニーズを分析し、児童発達支援計画の作成を行っています。	様々な情報を基に、子どもさんの主な課題に対する支援を保護者の皆様と一緒に考えていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で統一したアセスメントツールを活用しています。	アセスメントツールを活用し、必要に応じて項目や療育の見直しを行い、個々に合わせた適切な支援へとつなげていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援計画検討会議では、児童発達支援管理責任者を中心として、児童発達支援ガイドラインに示してある項目を確認しながら、実施しております。	「児童発達支援ガイドライン」に基づく考え方や具体的支援のあり方については、不十分さを感じている所もあります。今後も理解を深めていくことが必要です。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		子どもさん一人ひとりの児童発達支援計画に基づき、職員、御家族で共通理解を図り、支援を行っています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センターひこばえ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		年間計画をふまえ、担当職員を中心に、各月の療育計画を作成しています。チームで療育内容について検討する機会を設けています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事等も取り入れながら子ども達や興味を持って、参加しやすいプログラムとなるよう工夫しています。	子ども達の実態に応じたプログラムを設定し、療育での経験を通して、興味、関心の拡大へとつなげていきます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		相談支援専門員との連携やアセスメントツールを活用し、児童発達支援計画を作成しています。	子どもさんの実態に応じて、個別療育、集団療育を組み合わせています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		利用する子どもさん、療育内容、支援の流れ、職員の役割分担の確認を行い、情報の共通理解を図っています。	子どもさんの通所人数、療育内容に応じた職員配置、利用する教材等を含め、打ち合わせを行っています。全員の参加は難しい状況ですが、職員間での連絡ノートを活用し、情報共有に努めています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼にて、その日の支援の振り返りや連絡事項等の確認を行っています。また、職員でのミーティングを実施し、支援の記録を残しています。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	○		児童発達支援計画の支援に基づき、支援を記録しています。また、できるようになったこと、新しい子どもさんの姿が見られた際にも、記録するようにしています。	日々の支援記録を基に、会議等での資料として活用しています。また、適宜、児童発達支援計画の検証、改善のできる体制を継続していきます。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングでは、子どもと保護者との面談を通して、支援の達成度や満足度等の把握を行い、支援の方向性の確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っています。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地区におけるネットワーク会議や発達相談会に出会える等、関係機関との連携を図っています。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている				
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育所等訪問支援を通して、地域の幼稚園、保育園、特別支援学校(幼稚部)との情報共有と相互理解を図っています。また、情報提供シートを活用しています。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		小学校との連絡会に参加したり、移行支援シートを活用したりしています。また、必要に応じて、連絡を取り合うことのできる体制をとっています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センターひこばえ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
連携	⑳ ⑳ ⑳ ⑳ ⑳ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターや発達支援事業所で実施されている公開保育や研修会に出席しています。また、専門機関を見学したり、研修を受講したりしながら連携を図っています。	
	㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		地域の小学校(年1回)、幼稚園(年3回)と交流保育を実施しています。また、施設外活動では、地域の公園へ外出したり、お散歩したりする等して、地域住民との交流を図る機会を取り入れています。	
	㉒ ㉒ ㉒ ㉒ ㉒ (自立支援)協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		法人として参加しています。また、その内容を会議等で報告を行い、職員への情報提供を行っています。	
	㉓ ㉓ ㉓ ㉓ ㉓ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		バス送迎時や連絡帳にて、子どもさんご様子等をお伝えしております。その他、家族通所や面談を通じて、子どもさんの状況、課題について共通理解を図り、具体的な対応を一緒に考えていきます。	
	㉔ ㉔ ㉔ ㉔ ㉔ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今年度より、保護者に対し、ペアレントプログラムを実施しました。その他、就学や福祉サービス、専門職による講話等の研修会を行いました。	
保護者への説明責任等	㉕ ㉕ ㉕ ㉕ ㉕ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に、運営規定(契約書)、重要事項説明書の説明を行っています。また、変更があった場合は、文書にてお伝えしています。	
	㉖ ㉖ ㉖ ㉖ ㉖ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		今年度、保護者を対象に「児童発達支援ガイドライン」に関する説明会を実施し、御家族への周知を図りました。	当日、参加できなかった保護者に対しては後日、資料の配布をさせていただいております。また、今後の面談等を通して、保護者様への周知を図っていきます。
	㉗ ㉗ ㉗ ㉗ ㉗ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時には御要望や何か困っていることがないか、確認を行うようになっています。また、保護者が安心して、家庭での育児に取り組むことができるよう、必要に応じて、情報提供を行う等の対応を行っています。	
	㉘ ㉘ ㉘ ㉘ ㉘ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会、大樹の会(父親)の活動が行われています。また、保護者同士でのランチ会なども計画されています。月に1度は、定例会に出会し、お互いの取り組みや活動等の報告を行っています。	保護者によっては、御両親で仕事をされていて時間の確保が難しい、人前で話をしたりすることが苦手等、参加の難しい御家族もいらっしゃると思います。可能な限り、御協力いただき、無理のないペースでの参加をお願いしていますが、今後も保護者同士の交流や連携につなげられるよう取り組んでいきたいと思っております。
	㉙ ㉙ ㉙ ㉙ ㉙ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に相談・苦情受付窓口、担当者、第三者委員を設置していることをお伝えしています。そして、対応についてはマニュアルを整備しており、職員で共通理解を図りながら対応しています。	
	㉚ ㉚ ㉚ ㉚ ㉚ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人の会報や施設のお便り「ひこばえの森」を発行し、行事予定や療育内容を発信しています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センターひこばえ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し、プライバシーの配慮等、職員への周知を図っています。また、契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っています。	
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	○		絵・写真カードを用いたり、モデルを示したりと視覚的アプローチを中心に支援を行っています。	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域住民を対象としたイベントの実施等はできませんでしたが、実習生の受け入れや各行事においてはボランティアを募集し、多くの方に来所していただきました。	
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを整備し、研修を通して、職員への周知を図っています。	非常時のマニュアルを施設内に掲示し、来所した際にいつでも見ることができるようにしてありますが、御家庭への周知が十分に実施できていない現状があります。今後、改善に取り組んでいきます。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	○		毎月、子ども達と一緒に避難訓練を実施しています。地域の消防署、警察署の協力をいただきながらアドバイス等もいただいています。	
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に子どもさんの疾病や服薬状況等を把握しています。また、緊急連絡先やその後の対応についても保護者と確認しています。	
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者より除去食がある場合は申出書への記入をお願いします。食事提供時には、栄養士と担当職員とで子どもさんの名前と食材の確認を行っています。	現在、医師の指示書での対応しておらず、御家族との聞き取りの情報(食物アレルギーの有無、食事形態等)より申出書(除去食)を提出していただいています。今後の対応として、医師の指示書に基づいた食事提供を行っていきます。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		終礼や毎月の職員会議でヒヤリハット事例については共通理解を図っています。また、事例集を作成し、上半期と下半期で種別ごとのグラフを作成し、時間帯や傾向、対応策等を分析しています。	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部講師による研修会を実施、人権防止ハンドブックの読み合わせ、チェックリストの活用等しています。また、法人内に人権擁護委員会を設置しています。	
	④⑦ とのよつな場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、身体拘束は行っていません。やむを得ず実施する場合は、適切に対応できるようマニュアルを整備します。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：平成30年2月1日

事業所名 発達支援センターひこばえ 保護者等数(児童数) 63世帯 回収数 36世帯 割合 57%

		はい	どちらとも いえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。	30	4	0	2	・子どもは十分だけど、親が入ればスペースがないので、もう少し工夫して欲しい。 ・園庭がもう少し広くても良いのかなと思うところでした。	各行事等において、御家族の皆様に参加人数に応じ、可能な限り十分なスペースの確保に努めたいと思います。また、療育の中で施設外のお散歩や法人内にあるグラウンド等を利用しながら、十分に子ども達が身体を動かして遊ぶことができるよう、工夫して対応していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切でしょうか。	28	6	1	1	・先生方の人数が足りないのは分かりますが、子どもの数に対して先生方の人数が少ないため、自分の子どもが怪我をすることが多いです。 ・専門的なアドバイスも適宜いただき、生活に役立てています。何より愛情たっぷり接していただき、毎日安心して送り出せます。	子どもさんの怪我について、御心配をおかけし、大変申し訳ありません。職員の人員において、国の指定基準に則って、職員配置を行っています。また、ひこばえでは、より良い療育の提供に努め、子どもさんの安全を確保しながら、丁寧な療育が提供できるよう職員一同、努めてまいります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっていますか。また、安全面に配慮した環境設定が行われていますか。	32	3	0	1	・設営がとてもシンプルでわかりやすいので、参考になります。	絵カードや写真カードなどの視覚的な情報を用いることで、スムーズな理解につながりやすくなります。また、定期的に安全点検日を受け、建物や遊具などの点検も行っております。今後子ども達、一人ひとりの過ごしやすい環境作りに努めていきたいと思っています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	30	3	1	2		朝、夕の清掃作業では、教材や玩具の消毒、危険箇所等の確認を行っております。また、感染症対策については、マニュアルを作成し、適切な対応ができるよう努めています。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されていますか。	32	2	1	1		御家族や子どもさんとのコミュニケーションを大切にし、子どもさんの実態、ニーズを的確に把握するようにしています。また、専門職(作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、リミック講師等)より助言をいただきながら分析し、計画の作成を行っております。
	⑥ 児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	34	2	0	0	・子ども一人ひとりのことを先生はしっかりとみていただいております。親として安心してお願いできました。	児童発達支援計画の支援内容は、ひこばえだけでなく、御家庭でも取り組むことのできる支援となるよう配慮しています。御家族と一緒に必要な支援を考え、その支援目標における達成度、支援の適正について、御家族との面談を実施し、定期的に確認を行っております。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか。	34	1	0	1	・いつも丁寧な支援をありがとうございます。	児童発達支援計画に基づき、全職員で共通理解を図りながら子どもさんへの支援を行っております。
	⑧ 活動プログラムは子どもの実態に応じた内容になっていますか。	30	4	0	2	・ひこばえに通所して間もないので、日々の活動の様子等まだわからないこともあります。親子通所等を利用していききたいと思います。	子どもさんの実態に応じ、好きな遊びを中心に、運動や音楽、製作等、バランスのとれた活動プログラムを設定しています。定期的に家族通所や親子ふれあいあそび等、御家族で子どもさんと一緒に参加する行事も実施しておりますので、是非御参加いただき、子どもさんの様子を見ていただければと思います。
	⑨ 事業所外の地域の子どもの交流や活動の機会が設けられていますか。	23	3	0	10	・タイミングが合わず、なかなか参加はできませんでしたが、たくさん計画がされていたと思います。	定期的に地域の幼稚園や小学校の子どもさんと交流する機会を設け、レクリエーション等を行っています。その他、中学校の職場体験の受け入れも行っており、地域とのつながり、子ども達との交流の機会を大切にしています。
保護者への説明等	⑩ 事業所の支援に満足しているか利用開始前に、事業所での生活や支援の内容等について説明がありましたか。	34	0	0	1		見学時、利用開始時に安心して利用していただくことができるようセンターの利用時間や取り組み等の御説明を行っております。御質問や御不明な点等ありましたら、お気軽に御相談ください。
	⑪ 児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0		子どもさんの児童発達支援計画の内容を御家族に理解していただけるよう、わかりやすくお伝えできるよう心がけています。具体的にイメージしやすい事例を用いたり、実際の子どもさんの姿や反応を参照していただいたりしながら、説明を行っております。
	⑫ 保護者に対して「家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われていますか。	30	4	0	2	・内容がとても良かったです。	定期的に保護者研修の機会を作り、御家族の方に御参加いただいております。また、今年度よりペアレント・プログラムも実施しています。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。	31	4	0	1	・じつりゆつり時間を作っていたが、ありがとうございます。	通所される際は、子どもさんの生活リズムや健康状態等を把握させていただいています。また、連絡帳や送迎時、面談等を通して、子どもさんの体調や食事の状況、活動内容等について、お伝えさせていただいています。
⑭ 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われていますか。	35	1	0	0	・先生方皆、本当によくくださって心から感謝しています。専門的なアドバイスも適宜いただき、生活に役立てています。何より愛情たっぷり接していただき、毎日安心して送り出せます。	定期的に面談を実施し、御家族のニーズや御家庭での対応で困っていること等の御相談に応じます。相談内容によっては、専門職(作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士等)との面談も実施し、助言等を行っています。	

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：平成30年2月1日

事業所名 発達支援センターひこばえ 保護者等数(児童数) 63世帯 回収数 36世帯 割合 57%

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者 への説明等	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか。	21	10	1	4	・もう少し前もって日程がわかっていたり、作業内容がわかっているやしやすいのでは。 ・車の運転ができず、行事や父母の会に参加することが少なく、保護者同士で話をする機会がありません。ひこばえや父母の会がバスが利用できるように考えて欲しい。	父母の会、大樹の会(お父様)の活動が実施されており、各行事等においても御協力いただいております。日程のお知らせ等については、父母の会と御相談しながら検討させていただきます。 ひこばえへの交通手段において、御不自由をおかけしている状況もあるかと思っております。私たちが限られた車両数、職員数、時間の中で子ども達を安全に送迎することができるよう努めております。現在、家族通所時においては、御家族からお申し出があった場合のみ、対応させていただいておりますが、原則として、送迎の対象は、子どもさんのみとなっております。不便をおかけし、大変、申し訳ありません。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や要望について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や要望があった場合、迅速かつ適切に対応していますか。	29	4	1	2		苦情受付担当者や解決責任者、第三者委員等の体制を整備し、迅速に対応できるようにしています。また、御相談いただいた苦情、要望等の内容を職員間で共有し、改善に努めています。
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通のための配慮がなされていますか。	30	4	1	1		子どもさん達とコミュニケーションを図る際には、写真や絵カードの使用(掲示)、複数の選択肢の提供、短い言葉で具体的に伝える等しながら意思確認するよう留意しています。 また、定期的に御家族で参加できる行事や父母の会定例会を実施しながら、御意見や御要望などをおうかがいするようにしています。今回の保護者等アンケートでの御意見においても、今後の取り組みについて参考にさせていただいております。随時、御見学も受け付けておりますので、わからないことや困ったこと等がありましたら、いつでもお気軽に御相談ください。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	2	1	1		法人の会報や施設のお便り「ひこばえの森」を発行し、行事予定や療育内容を発信しています。ホームページにおいても、定期的に更新を行い、ひこばえでの取り組みや子どもさん達の姿をわかりやすくお伝えする心がけています。また、連絡体制等の情報については、施設内に掲示してあります。昨年度は、第三者評価を受審しました。結果においては、ホームページに掲載しています。
	⑲ 自分の秘密にしたいことを他人に知られないように配慮されていますか。	23	2	0	1		個人情報管理マニュアルを整備し、プライバシーへの配慮等、職員への周知を図っています。また、契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っています。
非常時 等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。	25	4	0	7		各種マニュアルを整備し、研修を通して職員へ周知を図っています。非常時のマニュアルを施設内に掲示し、来所した際に、いつでも見ることができるようになっておりますが、御家族への周知が十分に実施できていない現状があります。今後、改善に取り組んでいきます。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	25	2	1	8	・対ミサイルの防衛、その時の連絡方法等を知りたいです。	毎月、子ども達と一緒に避難訓練(火災・地震・風水害・不審者)を実施しています。様々な状況を想定し、取り組んでおりますが、ミサイルにおける避難訓練は、現在、実施しておりません。今後、検討させていただきたいと思っております。緊急時の連絡方法としては、ひこばえより緊急連絡先(優先順位に沿って)へ御連絡し、子どもさんの状況や対応について、お伝えさせていただきます。送迎中に発生した場合は最寄りの学校や福祉施設(公民館、福祉館、公共施設等)へ避難するようにしています。
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	1	0	0	・先生方のおかげで、本当に毎回楽しんで帰ってきます。すぐまた、「ひこばえいつ？」と尋ねてきます。なので、毎回本当に楽しんでいると思っておりますし、先生方のおかげで本人はゆっくりとですが、成長していると思っております。 ・子どもも楽しく通所しているので、とても安心していきます。 ・休日の日でも「ひこばえは？」と聞く程、通所を楽しみにしていることが嬉しいです。 ・その日によって変わりますが、ちゃんと嫌がらずに行っています。	今後子ども達も安心して、楽しく過ごすことができるよう人と人の関係作りや環境作りにも努めていきたいと思っております。御心配な点等ありましたらいつでも御相談ください。
	㉓ 事業所の支援に満足していますか。	34	1	1	0	・いつも温かい言葉かけ、励ましをいただき、親子共々感謝しています。子どもにとって居心地がよく、自分らしくいられる場所が家族以外にも、そして家族とはちょっと違った感じの温かい空間があるって幸せだなと思います。親としての関わり方もきめ細かくアドバイスしてくださる、時にはたくさんほめてくださるので、「私頑張ってる！」とパワーをもらい嬉しいです。	御利用に御満足していただけるよう、より良い療育の提供に努めておりますが、行き届かないところもあるかと思っております。皆様からの様々な御意見を参考に、子ども達の成長、発達につながる支援について、今後も御家族の皆様と一緒に考えていけたらと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

〇この「保護者等からの事業所評価表の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。